

JCE6プロジェクト「ファミリーミニストリー」計画案

プロジェクトリーダー：梅田登志枝

1. 目的

教会が時代とともに変化する「家族」への取り組みを実践するための、啓発活動、情報提供、協力体制作りをする。

- ①教会が、「神の家族」であることに取り組む励ましとなること
- ②すべての信徒が、みことばを実践する家庭生活を意識する励ましとなること
- ③クリスチャンホームが愛にあふれ、近隣の家庭にも祝福を分かち合う存在となる励ましとなること
- ④教会が、家族の問題で痛む社会に目を向け関わろうとする励ましとなること
- ⑤プロジェクトに参加して、小さな何かを始める励ましとなること

2. 目標

JCE7に向けて結婚、夫婦、子育て、介護について、教会が何かを始められる励ましとなるための情報提供、啓発活動を行う。

①クリスチャンホーム建設

まずは、青年クリスチャンが結婚して家庭を築くためにできること。

⇒結婚の素晴らしさ紹介(クリスチャン家庭に招く、教会で結婚についての学びをする)、結婚相手紹介、結婚カウンセリング、性の学びなど。

②夫婦

ますます豊かな夫婦関係を築くためにできること。

⇒夫婦カウンセリング、夫婦セミナー、マリッジコースなど。

③親子（子育て）

子育ての励ましのためにできること。

⇒ママカフェ、子育て支援サークル（マザーソング、読み聞かせ）、子育ての学び、父の学校、母の学校、ペアレンティングコース、親子の体験教室、家族キャンプ、養護施設に関わるなど。

④親子（介護）

親の介護や高齢者のためにできること。

⇒高齢者サークル&クラブ（習字、囲碁、将棋、お茶、ピクニックや観光）、介護者カフェ、介護者の相談、デイサービス、グループホームなど。

3. 方法/手段

JCE7に向けて、JEA女性委員会は宣教フォーラムや2年に1度の女性リトリートへの協力を軸に「ファミリーミニストリー」を継続する。特に結婚、夫婦、親子、介護についての研鑽を深め、教会が「神の家族」として成長することで福音宣教の糸口とする。

また、JCE6に向けて、神戸アナログ女性委員会が発足し、協力体制ができたように、さらに別の地域に新しいアナログ委員会が発足することで「ファミリーミニストリー」の啓発活動を拡大していく。そのために次のような、学び、情報収集をする。

- ・日本在住の宣教師の視点からの日本の「家族問題」
- ・家族問題の諸外国（WEA, AEA, トランスフォームワールドなど）の現状と取り組み
- ・家族問題に取り組む、専門家、教団、教会、団体、グループの活動内容などの情報収集